

【公募型】 令和2年度 客員研究員 研究報告書

滋賀大学経済経営研究所

氏名	氏名（ふりがな）	所属学科・職名
	石川清英（いしかわ きよひで）	大阪信用金庫・執行役員

期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
調査・研究のテーマ	地域金融機関の経営悪化要因分析
研究成果の概要 (中間成果も可)	<p>昨今マイナス金利政策等を原因とする地域金融機関の収益環境の悪化が顕著である。これに伴い、収益増加を企図して積極的に事業性貸出や消費者ローンの増強を行う金融機関も多数みられる。特にスルガ銀行や西武信用金庫の不動産融資の問題などを見ると、リスクな融資や余資運用を行った結果、金融機関破綻が現実のものとなることもありうる。したがって、このような時期に再度過去の地域金融機関経営の悪化要因を分析することは大きな意義があると思われる。</p> <p>本研究では、バブル期に信用金庫相互援助資金を活用し救済合併された西陣信金のケースを取り上げた。そして、同金庫の経営体質などの定性分析と財務諸表分析による定量分析を行いその破綻要因の詳細を明らかにした。</p> <p>同金庫破綻のトリガーとなったものは、トップの専横による無謀な不動産融資であったが、過去破綻した金融機関の破綻要因はそのほとんどが不動産融資の不良債権化であったという点に鑑みると、同金庫の破綻は典型的な金融機関破綻のケースであろう。</p> <p>今後、破綻した金融機関のケーススタディを追加し、研究を充実させたい。</p>
研究成果発表の計画 (学会報告及び学術誌への投稿)	<p>特になし。</p> <p>ディスカッションペーパーは作成済み。</p>